

令和 6 年度 瑞浪市議会

総務厚生学教委員会 行政視察報告書

視察日 令和 6 年 7 月 24 日 (水) ~ 25 日 (木)

視察地 奈良県大和郡山市・大阪府大東市



報告者 瑞浪市議会 総務厚生学教委員会

委員長 柴田 幸一郎

はじめに

令和6年度の総務厚生学教委員会は、7月24日に奈良県大和郡山市で、「大和郡山市立郡山北小中学校分教室 不登校生徒の学習の場『ASU』」を視察。7月25日に大阪府大東市で、「介護予防教室『大東元気でまっせ体操』」を視察した。大和郡山市・大東市 共に心温まる歓迎を頂きました。

大和郡山市では、無線の卓上マイクを用意していただき、説明者の声が聞き取りやすい工夫をしていただいた。また、西村千鶴子副議長より、瑞浪市と同じ市政70周年記念の活動、まちのシンボルである郡山城の説明、地場産業の金魚が300周年であること、リニア奈良県駅の誘致活動などの丁寧なまちの説明を受けました。庁舎は新しく、待合室に地場産業の金魚が楽しめる水槽、金魚をモチーフにしたTシャツ、ハンカチなどの商品が買えるスペース、小規模な図書館などもありました。その他にも、市民課の前には、こどもが遊ぶスペースを設け、順番待ちのストレスを和らげる工夫がされていた。



大東市では、3人の女性職員が大東市の法被を着用し、玄関先まで送り迎えしていただいた。また、会議室には、「瑞浪市議会の皆様 大東市へようこそ 熱烈 歓迎いたします」の看板まで用意していただき、素敵なおもてなしを受けました。本市もこの様なおもてなしを見本にするべきである。また、議場までの廊下に、議長と副議長の顔写真がある「大東市の未来を語ろうじゃないか。」のスローガンの様なポスターがありました。議員の意気込み、熱意を感じる議会でした。そして、傍聴席には難聴な方にも理解できるように「文字起こしモニター」が設置されていた。



両市には、大変忙しい中、瑞浪市議会総務厚生学教委員会の視察のために、素敵なおもてなしをご用意していただきましたことに感謝いたします。

もくじ

	ページ
I 視察概要	1
II 不登校生徒の学習の場 ASU	2
2-1 本市の現状	2
2-2 不登校対策総合プログラム 学科指導教室 ASU	4
III 介護予防教室 「大東元気でまっせ体操」	7
3-1 本市の現状	7
3-2 元気でまっせ体操	9
IV 議員間討論(視察の所感)	12
4-1 不登校対策総合プログラム 学科指導教室 ASU	12
4-2 元気でまっせ体操	14
V 視察資料	15

I . 視察概要

視察日	令和 6 年 7 月 24 日 (水) ～ 7 月 25 日 (木)	
人数	9 名 （総務厚生学教委員 8 名、議会事務局長 1 名）	
主な スケジュール と内容	7/24 14 : 30～ 16 : 30	【奈良県大和郡山市】 学校教育課 大和郡山市立郡山北小中学校分教室 不登校生徒の学習の場「ASU」
	7/25 10 : 00～ 12 : 00	【大阪府大東市】 高齢介護室 介護予防教室「大東元気でまっせ体操」
その他	視察中に突然の雷雨がありましたが、大きな問題も無く視察が行われました。	

Ⅱ. 不登校生徒の学習の場「ASU」

2-1 本市の現状

第2期瑞浪市教育振興基本計画(令和6年3月)より、「第2章 瑞浪市の教育における現状と課題」(P6)で、生徒は減少しているのに、不登校生徒は増加傾向である(表1 不登校児童生徒の推移 参照)。また、市民アンケートにおいても、「子どもたちへの教育における課題」(P36)で、「いじめ・不登校等の未然防止と早期対応」が47.4%と最も高い。

総務厚生学教委員会は、本年度のテーマを「不登校生徒の社会的自立の取組に向けた調査・研究」とした。

表1 不登校児童生徒の推移

年度	R1	R2	R3	R4
出現率	4.3%	4.3%	5.4%	6.1%

これを受けて、本市の現状を把握するために令和6年6月5日 瑞浪中学校で校内・校外教育支援センターの視察を行った。

瑞浪中学校では「居場所づくり、絆づくり」(安心してコミュニケーションが取れるところ)を目標としている。校内教育支援センター員(ベテランの古田教諭)が生徒の相談や悩みを聞き、アドバイスを行うなどのきめ細かい対応をしている。多い時には1日当たり12名の生徒が利用し、一人のセンター員では対応が困難である。



校外教育支援センター員(ベテランの清水教諭)は、こぶし教室の生徒17名を担当。相談者数は保護者を含めて年間900名と非常に多い。また、こぶし教室の卒業生には、自主学習だけで期末テストの国語が97点学年一位の生徒、スケジュールが細かくキチンとした生徒など素晴らしい能力を持った生徒が多数在籍していた。

瑞浪中学校視察後、6月25日に議員間討議を行った。主な意見として、

- ① 教諭は生徒たちに寄り添って、素晴らしい関係性を保ち、相談や指導をしている。

- ② 相談件数が多く教諭が不足している。
- ③ 不登校生徒の個性を認めてあげることが大切である。
- ④ 人によって、立ち止まる時間がある。その子にとっては小中学校であった。親が焦ったりすることは逆効果である。

の意見があった。

これらの意見から、先進事例である奈良県大和郡山市の郡山北小中学校分教室を視察した。郡山北小中学校分教室は、不登校児童生徒の特例校で、特別な教育方針や保護者対応などがある。不登校生徒の社会的自立について、ハード面・ソフト面を目的に視察する。

2-2 不登校対策総合プログラム 学科指導教室 ASU

大和郡山市立郡山北小中学校分教室は、令和5年4月に開校された、不登校生徒のための教室である。（平成16年に学科指導教室「ASU」として開設）現在の児童・生徒数は、8名（中学2年生1名 中学3年生7名）。教員数は19名である。その内訳を「表2 教職員配置状況」に示す。

表2 教職員配置状況

	職名		職名
1	郡山小学校 校長	11	市費非常勤講師
2	郡山中学校 校長	12	〃
3	郡山小学校 教頭	13	〃
4	郡山中学校 教頭	14	〃
5	県費主任教諭	15	〃
6	県費教諭	16	〃
7	県費常勤講師	17	市費主任スクールカウンセラー
8	〃	18	市費スクールカウンセラー
9	市費常勤講師	19	〃
10	市費非常勤講師		

表2に示す通り、県費による教諭が4名在籍している。教育部の渋谷次長は、教諭1人に対し不登校生徒6～7名が良いとの考えであった。

郡山北小中学校は、高校から学校復帰できることが目標である。市長が認めた分教室なので、不登校生徒が途中で一般の小中学校に転校しない。成績表・文化祭・卒業式など多数の学校イベントが分教室で実施されている。

郡山北小中学校では、①学習 ②体験活動 ③居場所づくりが基本方針となっている。①学習をでは、1.2時間目は英語・数学などの5教科、3.4.5時間目はチャレンジタイム・いきいきタイム・スポーツタイムなどの特別教育課程を行っている。下記に特別教育課程を説明する。

- ・スポーツタイム：身体運動によるストレス解消、集団活動を通して社会性を身につける。
- ・わくわくタイム：経験的な活動や、実技科目の学習内容を中心に行い、生活の基礎となる力を育成する。



・いきいきタイム：音楽や美術などの創作活動や表現活動を行い、豊かな感性を育成する。

・チャレンジタイム：計算問題や漢字等の基礎的な学習に取り組みながら、児童生徒の自らが計画を立てることで意欲的な学習をする。

・あゆみタイム：自己を見つめる時間として児童生徒が自由に語り合うことを通して、自己他者の理解を深める。

◆時間割（例：中学3年生）

	月	火	水	木	金
9:20～ 9:30	朝の会				
9:30～ 10:20	英語	国語	数学	社会	理科
10:30～ 11:20	理科	社会	英語	数学	国語
11:30～ 12:20	スポーツ	チャレンジ	チャレンジ	音楽	チャレンジ
12:20～ 13:00	昼食・昼休み				
13:00～ 14:30	ASU タイム	美術	技術	家庭科	スポーツ
14:30～	掃除・終わりの会				

図2 時間割

5教科の授業時間が標準授業より約3割少なく、音楽・図工・家庭科などの授業を削除し特別教育課程を行っている。社会性や相互の人間関係を築いていく力、社会的自立を促す力は、この授業で培われていると考えられる。

基本方針の「居場所づくり」では、「THE 学校」というイメージを払しょくしている。分教室の建屋が民家のように、玄関がおしゃれである。室内は、自由な空間、おしゃれな机とイス、移動式のホワイトボードで、集会場の様に感じた。



図3 ASU 校舎

これは、不登校生徒の中には、校舎・教室を拒絶してしまう生徒がいる。少しでも和らげるために、学校らしくない校舎と教室としている。

不登校生徒の保護者は大きな不安と挫折感を持っている人がいる。郡山北小中学校の保護者会及びOB保護者会が中心となって活動している「親の会マザーリーフ」がある。この会は、おしゃべり会、相談会など不安な保護者に寄り添う活動をしている。



図4 親の会マザーリーフ

以下は、頂いた資料の抜粋である。

<対象児童生徒>

- ・大和郡山市在住の小学校第1学年から中学校第3学年までの児童生徒
- ・病気や経済的な理由を除く年間30日以上欠席が続いている者
- ・本人に登校意欲があり、保護者の理解がある者

<不登校児童生徒等の実態に配慮した工夫>

- ・通いやすい登下校時刻を設定している。
- ・一人一台端末のAIドリル等を活用した学習機会の保障
- ・小学校、中学校の垣根を越えて、協力して取り組む課題を設定
- ・国語、数学については習熟度別のクラス編成を行う。
- ・投稿できない児童生徒への支援として、ICTの活用や心理学専攻の大学院生等の家庭訪問等を行う。
- ・市内の保護者等を交えた、「不登校を語るフォーラム」を開催する。

<ASUでの生活Q&A>

Q：学籍はどうなりますか？

A：令和5年度より分教室になったことで、学籍が郡山中学校・郡山北小学校に移ります。※学籍は移りますが、本人の希望する場合は前籍校との関係を保ちながら通室できます。

Q：通学方法は？

A：中学校は、市内のいろいろなところから通っているので、電車やバスなど様々な交通手段で通学しています。また、自転車通学も認めています。小学生は、必ず保護者か身内の方の送迎をお願いします。

Q：制服はありますか？

A：ASUの制服はありませんので、前籍の小中学校の制服を着用してもいいですし、小中学生らしい服装であれば私服でも構いません。

Q：教科書や副読本は？

A：大和郡山市立の小中学校と同じ教科書を使っています。副読本に関しては、持っている物を学習に役立ててください。

Q：給食はありますか？

A：ASUは給食がありませんので、お弁当と水筒を持参ください。お弁当が作れなかった時は、ASUに来るまでに買ってきてください。

Q：学校を休んでいた間の学習が遅れていて心配です。

A：授業を担当している教諭以外にもスタッフが個人的に教えてくれますし、家でできるプリントもありますので、心配なことは遠慮せずに気軽に相談してください。

Ⅲ 介護予防教室「大東元気でまっせ体操」

3-1 本市の現状

瑞浪市の高齢者人口は減少傾向である。しかし、介護認定者数は増加傾向である。これは、要介護認定者が若年化していることを示す。いつまでも住み慣れた地域で生活を続けられるよう、健康寿命の延伸と生活の質の向上ができる有効的な方法が「介護予防教室」である。

瑞浪市では、介護予防教室が年 100 回開催されているが、参加者問題、交通問題などがある。

令和 6 年度の総務厚生学教委員会では、本年度のテーマを「高齢者の生きがいづくりと社会参加の増加の取組に向けた調査・研究」としている。

これを受けて、本市の現状を把握するために、5 月 30 日 第一委員会室で高齢福祉課より「高齢者の現状と課題を踏まえた介護予防の取り組みについて」をテーマに勉強会を行った。

本市は、東濃五市で要介護認定率が低い。(表 3 要介護(要支援)認定率の比較 参照)

表 3 要介護(要支援)認定率の比較

	瑞浪市	多治見市	中津川市	恵那市	土岐市
要介護(要支援)認定率%	15.5	15.2	17.4	17.0	16.5

要介護認定率が低い理由は、介護予防教室・出前講座・自主グループと、ボランティアの通いの場の充実があげられる。介護予防教室では、「体づくり体操」を行っている。その他にも、スナッグゴルフ・陶芸などニーズに合った教室も行っている。介護予防教室は、広報みずなみ・ホームページ・ポスターなどで広く周知する方法と、60 歳・65 歳・70 歳など節目の年に案内を配布する 個人に周知する方法を行っている。しかし、新規者が少なく、リピーターが多い。男性参加者が少なく、免許返納者・後期高齢者などの交通問題などが課題である。



勉強会後、6 月 25 日に議員間討議を行った。そこでの主な意見として、

- ① 今の60歳は若い。介護予防教室の勧誘を引き上げる必要がある。また、楽しくできる方法が必要である。
- ② (①意見と反対に)40代でも軽い運動が必要である。地域と一緒にできる運動のクセを付ける必要がある。
- ③ ささエールポイントは、使い勝手が悪い。
- ④ 要介護者を地域でどのように支え合うのか、どの様に行えば良いのか。組・区の近所との付き合い方が大切である。
- ⑤ 高齢・介護の問題は、多数の課に関係している。
- ⑥ 地域によって介護予防の考え方・課題点も違う。介護予防教室までの交通手段がない地域がある。

以上の意見があった。

これらの意見から、大阪府大東市の「大東元気でまっせ体操」を視察する。大東元気でまっせ体操は、100カ所以上 週1回～2回開催されていて、参加者が大変に多い。その他にも、高齢福祉関連の移動問題・ボランティアポイント問題などにも積極的に取り組んでいる。

3-2 大東元気でまっせ体操

大東市の2020年の人口は、119,367人で、高齢者の割合が27.4%であった。2045年には、人口が93,155人で、高齢者の割合が38.0%になると予測されている。このことから、大東市で起こる問題として、

- ①減り続ける財源と担い手。
- ②医療介護に携わる専門職の不足。
- ③地域の担い手の高齢化。
- ④地域ネットワークの弱体化。
- ⑤見守りを必要とする世帯の増加。
- ⑥認知症高齢者の増加。などである。

これらの問題に対し、実状に合った地域包括ケアシステムの推進が行われた。その内容を下記に示す。

- ①支えを必要とする高齢者の増加を食い止める介護予防の促進。
- ②要支援状態からの自立を目指す自立支援を促進。
- ③効率的で効果的な働き方を推進。
- ④貴重な専門職は、より専門性の高いことに集中し、それ以外のことは専門職以外が担う環境整備の推進。
- ⑤新たな担い手を確保。
- ⑥高齢者が活躍できる場の情報発信及びコーディネート。
- ⑦ICT・IoT技術を導入し、見守りを充実 である。

この7つの方針を司っているのが「介護予防・日常生活支援総合事業」である。この総合事業は、「介護予防・生活支援サービス事業」と「一般介護予防事業」の2つに分類される。

一般介護予防事業の中に「大東元気でまっせ体操」がある。この大東元気でまっせ体操は、座って・立って・寝てできる体操で、参加者の体調に合わせてある。自治会・銀行・病院・企業など、住民主体で実施され、元気な高齢者から要介護の方まで広く参加できる。現在では149グループが週1~2回開催されている。

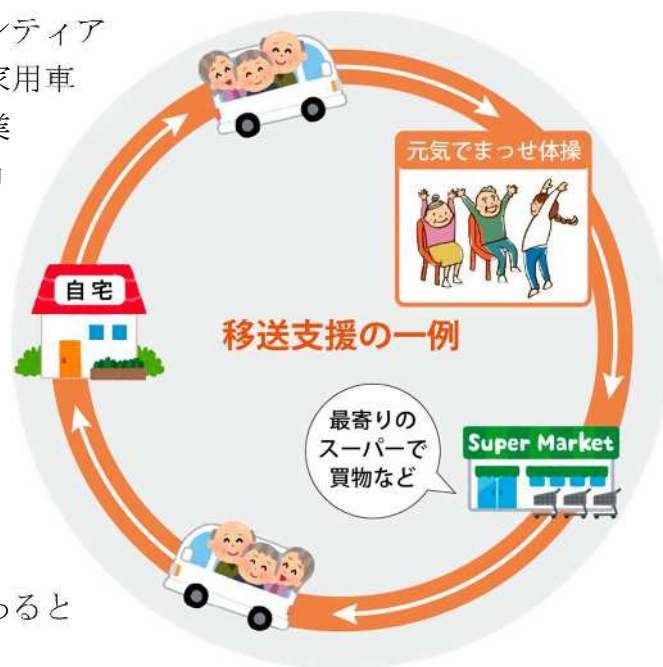
大東元気でまっせ体操を行うことによって、明確な数値はないが、要介護者が減少し、元気な高齢者が増加した。また、独居の方のコミュニケーションとなり、心のケアと見守りになる。149の自主グループができたのは、地道な周知であって、特別に何か行って広まった



わけではない。参加者は、2,300人位で、80代が5割と中心的である。男女比は2:8で女性が多い。男性の参加者増加は全国共通の問題である。

自主グループを維持するにはリーダーが要である。そのリーダーを育成する支援講座・勤続表彰・意見交換会などのモチベーションアップ対策がなされている。

大東元気でまっせ体操には、移送ボランティアがある。体操の参加者限定であるが、自家用車を利用して、運転免許返納者を迎える事業がある。（損保ジャパンに加入）NPO活動では、「おふろで元気事業」がある。自宅⇒大東元気でまっせ体操⇒風呂⇒スーパーマーケット⇒自宅がルートである。移動問題についても優れた対策がなされている。介護施設の風呂には、バリアフリー化されていることから、後期高齢者が安心して入浴することができる。また、免許返納者の中には、買い物難民がいる。このような活動は、瑞浪市も参考すべきであるとの意見があった。

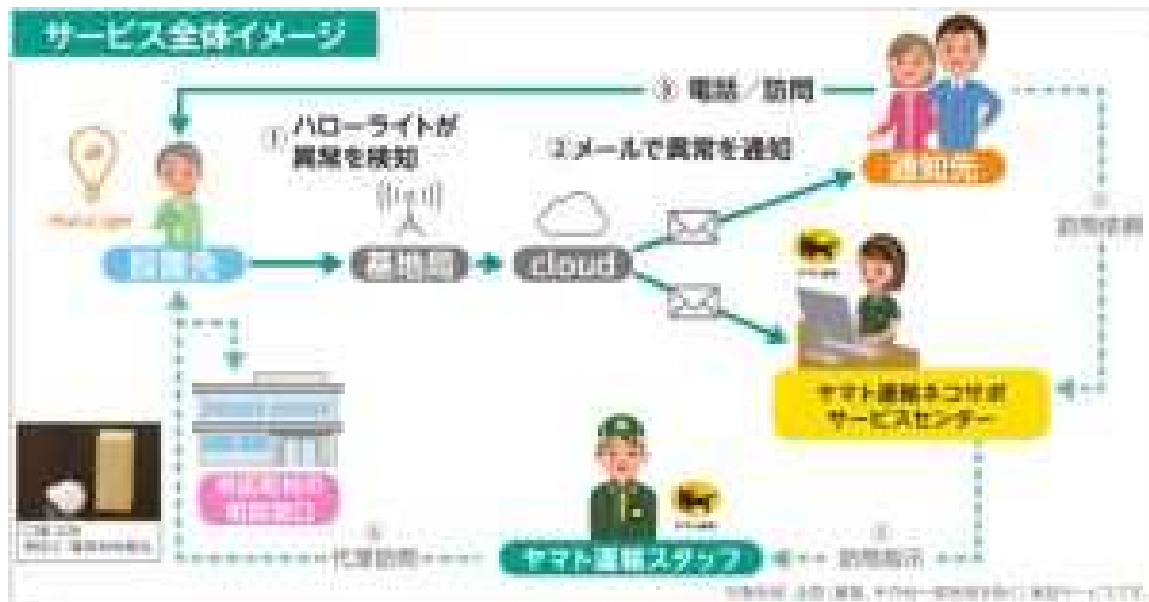


介護予防・生活支援サービス事業の中には、「生活サポート事業」があった。この事業は、瑞浪市のささエールポイントと同様な事業であった。例えば、大型ごみ出し・窓ふき・庭の手入れなど生活のチョットした手伝いをし、30分以内で250円の謝礼金を頂くものである。瑞浪市と大きく異なっているのが、『時間貯金』である。若い時に生活サポート事業のポイントを謝礼金に変換せずに、時間を貯金して、10年後に貯めた時間を将来の自分のために利用するシステムである。優先的に生活サポートを受けることができるので安心な老後であると考えられる。

もう一つが、「7つのあんしん・見守りサービス」である。遠くに住む子供たちが、独居の親または、父母のみ世帯の見守り事業である。簡単に7つを紹介する。

- ①ハローライト事業：自動で見守るLED電球
- ②スマートタグ購入費助成：GPSとスマホで認知症迷い人対策
- ③地域SOSカード：緊急時に役立つ冷蔵庫に保管する情報カード
- ④あんしん・通報システム：緊急通報や日頃の相談ができるシステム
- ⑤地域の安心見守り活動：地域の事業者の方々の力を借りた見守り活動協力事業者募集中
- ⑥在宅給食サービス：昼食のお届け時に安否確認
- ⑦電磁調理器購入の助成：電磁調理器で出火を防止 以上

ここでは、①ハローライト事業を代表で詳細に説明する。自宅のLED電球に見守り機能を持たせたシステムである。夜間の電気を長時間点灯し続けた場合、異常と感知して家族等にメールする。すぐに駆け付けることができない場合は、ヤマト宅急便が代わりに様子を伺う事業である。月額1078円を自己負担ないしで利用可能。



IV 議員間討論(視察の所感)

大和郡山市・大東市視察後、8月6日 10:00~11:30 第一委員会室で議員間討論を行った。

議員間討論では、事前にレポートを提出し、一人ひとりのレポートの内容を発表した。その後、自由討議を行った。自由討議では、高齢福祉・学校教育の枠を超えた意見もあった。例えば、「瑞浪市の交通問題を経済部が管轄しているが、バスの利用者のほとんどが高齢者である。ならば、高齢福祉課が中心となって交通問題に対処したほうが良い。」「不登校の原因は不明であるが、地域イベントの参加、地域の友達・大人のつながり等が大きく影響しているのではないか。」などである。

4-1 不登校対策総合プログラム 学科指導教室 ASU

不登校対策総合プログラム 学科指導教室 ASU の主な意見は、

①教諭の取り組み

瑞浪市の校内外教育支援員の取り組みも、ASU 教諭の取り組みも同様であった。居場所づくり、生徒に寄り添った学習指導などは同等であった。しかし、ASU では、県費・市費で多くの教諭がいる。ASU では、教諭 1 人に対して不登校生徒 6~7 人。瑞浪中学校は、校内支援員は教諭一人で 8 人・校外教育支援員は 17 人と教諭が不足している。

関連意見として、不登校生徒は増加する傾向であるため、東濃 5 市で不登校特例校ができると良い。

②特別教育課程

3.4.5 時間目はチャレンジタイム・いきいきタイム・スポーツタイムなどを行っている。コミュニケーションがうまく取れない子どもたちが、この授業を通して仲間意識や助け合いなどを学ぶ。しかし、この授業は、特別でなく、日常的な教育と変わらない。日常的な教育とは、友達との付き合い方、近所の人との付き合い方、子ども同士のあそび、近所の人とあそびなどの地域を含めた全ての教育を言う。ある委員は、夏休みの寺子屋では、ボードゲーム・トランプ等のゲームで、子ども同士・ボランティアと子どものコミュニケーションが良くなった。との意見があった。これも日常的な教育方法であると考えている。

③不登校の要因

「ゆとりある不登校ではないか。」「無理に行かなくても良い。という家庭環境ではないか。」の意見があれば、「何かの機会の不登校になってしまった。その前兆を教諭や親が見極める必要がある。」との意見もあった。

不登校生徒になる理由は不明であり、複雑である。しかし、小中学校では不登校生徒であっても、高校からは普通に行けるのは、不登校の教諭の指導が優れているからと考える。

④保護者会

不登校生徒の保護者は不安が多い。その不安を瑞浪市では校外教育支援センターに相談している。しかし、相談件数が年間 900 名と非常に多い。

ASU では、保護者・OB 保護者からなる「親の会 マザーリーフの会」がある。この会では、おしゃべり会・相談会などを開催し、OB 保護者等からのアドバイスなどを行っている。瑞浪市にも必要と考える。

4-2 大東元気でまっせ体操

大東元気でまっせ体操の主な意見は、

①総合事業

総合事業は、高齢福祉に関する課題を、生活支援・地域コミュニティー・ボランティアなど様々な活動を組み合わせて事業化している。大東元気でまっせ体操が、149 グループと大きくなったのは、総合事業によって、各課の連携が強化されたからと考える。

②移送サービス

瑞浪市の介護予防教室の課題として交通問題がある。大東市は、自家用車のボランティアドライバー・NPO 法人のバスによって、移送サービスを充実している。また、体操終了後にスーパーマーケットに立ち寄るサービスを評価している。しかし、大東市は瑞浪市より面積は1/10、人口は3倍 大きな山や川が無いなどの地理的要因から、同様なボランティアドライバーができるか検討する必要がある。

③生活サポート事業の時間貯金

瑞浪市のささエールポイントは、換金制度の変更を行っているが、使い勝手が悪い。大東市では、生活サポート事業を謝礼金に変換することもできるが、その時間を10年後の自分のために貯金する「時間貯金」がある。これを瑞浪市でも活用できるかどうか検討する必要がある。

④7つの見守り事業

ICT・IoTを活用した素晴らしい見守り事業である。「瑞浪市の場合、長寿会に20万円の見守り事業を行っているが、全地区に長寿会はない。歯抜けの状態である。また、高齢者が高齢者を見守ることにも不安がある。」との意見もありました。ヤマト宅急便などの企業と一緒にした見守り事業は瑞浪市にもできることを願う。

V 視察資料



岐阜県瑞浪市議会の皆様



ようこそ「平和のシンボル、金魚が泳ぐ城下町。」大和郡山へ

日時：令和6年7月24日（水） 午後2時30分～

場所：大和郡山市議会 第1委員会室

瑞浪市議会「総務厚生学教委員会」視察研修 次第

- 1 開 会
- 2 歓迎挨拶 大和郡山市議会 副議長 ^{にし むら}西 村 ^{ち ず こ}千鶴子
- 3 訪問挨拶 瑞浪市議会「総務厚生学教委員会」委員長 ^{しば た こういちろう}柴 田 幸一郎 様
- 4 研修内容 不登校対策総合プログラムについて（学校教育課）
- 5 閉 会 瑞浪市議会「総務厚生学教委員会」副委員長 ^{いぬ づか とし ひこ}犬 塚 利 彦 様

【出席者】

<瑞浪市議会 総務厚生学教委員会>

委員長 柴田 幸一郎 様	副委員長 犬塚 利彦 様	議長 成瀬 徳夫 様
熊谷 隆男 様	柴田 増三 様	樋田 翔太 様
小木曾 光佐子 様	辻 正之 様	
随 行 大山 雅喜 様		

<大和郡山市議会> 副 議 長 西村 千鶴子

事 務 局 次 長 宮下 美佳

議 事 係 兼 調 査 係 北条 謙弥

<担 当 課> 教育部次長兼学校教育課長 澁谷 美奈

学校教育課 指導係長 高田 吉寿

学校教育課 指導主事 坂口 達也



大和郡山市市制70周年
Yamatokoriyama City



学校概要

- 管理機関: 大和郡山市教育委員会
- 所在地: 奈良県大和郡山市植槻町3番地4
- 本校: 大和郡山市立郡山北小学校・郡山中学校
- 開校時期: 令和5年4月(平成16年度に学科指導教室「ASU」として開設)
- H P: <http://asu-universe.blogspot.com/>

対象児童生徒

- 大和郡山市在住の小学校第1学年から中学校第3学年までの児童生徒
- 病気や経済的理由を除く年間30日以上欠席が続いている者
- 本人に登校意欲があり、保護者の理解がある者

在籍児童生徒数

※令和6年7月1日時点

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
小学生	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
中学生	0人	1人	7人	—	—	—	8人

教職員配置状況

職名	備考	職名
1 校長(小)	郡山北小学校長	11 市費非常勤講師
2 校長(中)	郡山中学校長	12 市費非常勤講師
3 教頭(小)	郡山北小学校教頭	13 市費非常勤講師
4 教頭(中)	郡山中学校教頭	14 市費非常勤講師
5 県費主任教諭		15 市費非常勤講師
6 県費教諭		16 市費非常勤講師
7 県費常勤講師		17 市費主任スクールカウンセラー
8 県費常勤講師		18 市費スクールカウンセラー
9 市費常勤講師	養護教諭	19 市費スクールカウンセラー
10 市費非常勤講師		

教室配置図



校時表(例・中学校3年生)

		月	火	水	木	金
9:00-9:20	ウォームアップ					
9:20-9:30	朝の会					
9:30-10:20	1時間目	英語	社会	社会	数学	理科
10:30-11:20	2時間目	理科	数学	英語	国語	社会
11:30-12:20	3時間目	スポーツ	チャレンジ	チャレンジ	いきいき音楽	チャレンジ
12:20-13:00	昼食・昼休み					
13:00-14:30	4-5時間目	ASUタイム	いきいき美術	わくわく家庭科	わくわく技術	スポーツ
14:30-14:40	清掃					
14:40-15:00	クールダウン					
15:00	下校					

備考

スポーツタイム…身体運動によるストレス解消、集団活動を通して社会性を身に付ける目的でスポーツ全般を中心とした活動を行う。

わくわくタイム…体験的な活動や、実技科目の学習内容を中心に行い、生活の基礎となる力の育成を目指す。

いきいきタイム…音楽や美術(図画工作)などの創作活動や表現活動を行い、豊かな感性の育成を目指す。

チャレンジタイム…計算問題や漢字等、基礎的な学習に取り組みながら、児童生徒自らが計画を立てることで意欲的な学習を目指す。

あゆみタイム…自己を見つめる時間として児童生徒が自由に語り合うことを通して、自己・他者理解を深める。

教育課程

特別な教育課程の概要

- 小・中ともに総授業時数の3割程度削減。
- 国語、社会、数学(算数)、音楽、美術(図画工作)、家庭、体育、外国語、道徳、総合的な学習の時間、特別活動を削減する。
- 新設の教科「スポーツタイム」において、身体運動によるストレス解消、集団活動を通して社会性を身に付ける目的でスポーツ全般を中心とした活動を行う。
- 新設の教科「わくわくタイム」において、体験的な活動や、実技科目の学習内容を中心に行い、生活の基礎となる力の育成を目指す。
- 新設の教科「いきいきタイム」において、音楽や美術(図画工作)などの創作活動や表現活動を行い、豊かな感性の育成を目指す。
- 新設の教科「チャレンジタイム」において、計算問題や漢字等、基礎的な学習に取り組みながら、児童生徒自らが計画を立てることで意欲的な学習を目指す。
- 新設の教科「あゆみタイム」は、自己を見つめる時間として児童生徒が自由に語り合うことを通して、自己・他者理解を深める。

教育課程表

※灰文字は標準授業時数

区分		小1		小2		小3		小4		小5		小6		中1		中2		中3	
各教科	国	136	306	140	315	140	245	140	245	140	175	140	175	70	140	70	140	70	105
	社	-	-	-	-	70	70	70	90	70	100	70	105	70	105	70	105	70	140
	算・数	102	136	105	175	105	175	105	175	105	175	105	175	70	140	70	105	70	140
	生・理	170	102	175	105	105	90	105	105	105	105	105	105	70	105	70	140	70	140
	音		68		70		60		60		50		50		45		35		35
	図・美		68		70		60		60		50		50		45		35		35
	体・保		102		105		105		105		90		90		105		105		105
	家・技	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60		55		70		70		35
	外・英	-	-	-	-	-	-	-	-	-	70		70	70	140	70	140	70	140
	外活	-	-	-	-		35		35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
道徳		34		35		35		35		35		35		35		35		35	
総合	-	-	-	-		70		70		70		70		50		70		70	
特活		34		35		35		35		35		35		35		35		35	
スポーツタイム		102		105		105		105		105		105		105		105		105	

わくわくタイム	50		53		53		53		53		53		140		140		140
いきいきタイム	120		122		122		122		122		122		105		105		105
チャレンジタイム	102		105		105		105		105		105		105		105		105
あゆみタイム	68	-	70	-	70	-	70	-	70	-	70	-	70	-	70	-	70
合計	850	850	875	910	875	980	875	1015	875	1015	875	1015	875	1015	875	1015	875

不登校児童生徒等の実態に配慮した工夫

- 通いやすい登下校時刻を設定している。
- 1人1台端末のAIドリル等を活用した学習機会の保障
- 小学校・中学校の垣根を越えて、協力して取り組む課題を設定
- 国語、数学(算数)については習熟度別のクラス編成を行う。
- 登校できない児童生徒への支援として、ICTの活用や心理学専攻の大学院生等の家庭訪問等を行う。
- 市内の保護者等を交えた、「不登校を語るフォーラム」を開催する。

内写真

①学習スペース	②集団スペース	③カウンセリングルーム
		
パーティションは取り外し可能で、②の集団スペースと同時使用可能。	学年を超えた活動や終わりの会を行うスペース。	個別スペース。SCとの相談などに使用。防音設備が整っている。
④学校行事	⑤児童生徒の活動の様子	⑥分教室の外観
		
出発式(開所式)の様子	野菜の鉢植え(体験活動)	旧法務局出張所の建物をリノベーション

学校に行きづらい子どもの居場所

「ASU」のご案内

令和5年度より

郡山北小学校・郡山中学校
分教室「ASU」にいたしました！

大和郡山市植柳町3番4号
TEL 0743-85-7751



さまざまな事情で学校に行きづらい大和郡山市立の小・中学校に通うの児童生徒が、学校以外で学ぶための場所です。一人一人に応じた授業内容を設定し、弾力的な教育課程の中で学習指導を行います。体験活動を重視し、コミュニケーション能力の育成を図ります。中学生は、「ASU」作成の調査書で高校受験が可能です。

分教室「ASU」の地図



【近鉄郡山駅から約900m】



ASU

「ASU」での生活 Q & A

Q 学籍はどうなりますか？

A 令和5年度より分教室になったことで、**学籍が郡山中学校・郡山北小学校に移ります。**

※学籍は移りますが、本人が希望する場合は前籍校との関係（行事などへの参加）を保ちながら通室ができます。

Q 通学方法は？

A 中学生は、市内のいろいろなところから通っているのも、電車やバスなどさまざまな交通手段で通学しています。通学定期券を購入することもできますので、詳しくはご相談ください。また自転車通学も認めています。安全な通学路を利用してください。小学生は、必ず保護者が身内の方の送迎をお願いします。

Q 制服はありますか？

A 「ASU」の制服はありませんので、前籍の小・中学校の制服を着用してもいいですし、小・中学生らしい服装であれば私服でも構いません。



【「ASU」のご案内（大和郡山市HP内）】

Q 教科書や副読本は？

A 大和郡山市立の小・中学校と同じ教科書を使っています。副読本に関しては、持っているものを学習に役立ててください。

Q 給食はありますか？

A 「ASU」は給食はありませんので、お弁当と水筒を持参してください。お弁当が作れなかった場合は、「ASU」に来るまでに買ってきてください。

Q 特別な費用はかかりませんか？

A 授業料は必要ありません。ただし「ASU」までの交通費と実習や校外学習の実費は負担いただくことになります。

Q 学校を休んでいた間の学習が遅れていて心配です。

A 授業を担当している先生以外にもスタッフが個人的に教えてくれますし、家でできるプリントもありますので、心配なことは遠慮せずに気軽に相談してください。

「ASU」入室までの流れ

(大和郡山市立の小・中学校に通う児童生徒が対象となります。)



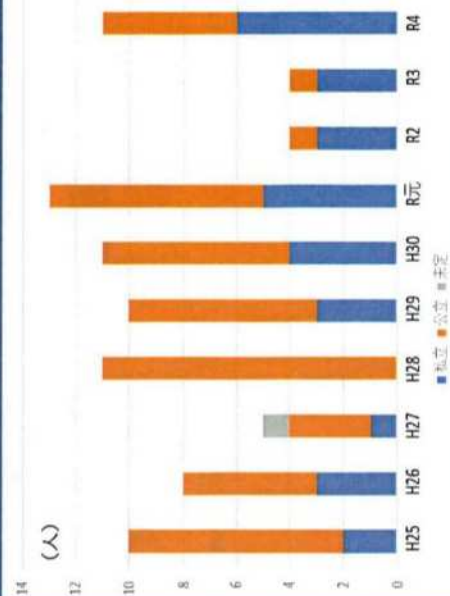
令和5年度 主な行事予定

- 4月 身体測定・保護者会
- 5月 春の校外学習
- 6月 社会見学・定期テスト
- 7月 七夕会・進路説明会・三者懇談
- 9月 保護者会・秋の校外学習
- 10月 文化祭・避難訓練
- 11月 進路説明会・3年三者懇談・定期テスト
- 12月 クリスマス会・ボランティア清掃・三者懇談
- 1月 お正月遊び・3年テストweek
- 2月 節分会・私立高校入試・公立高校特色入試選抜
- 3月 公立高校一般入試・卒業生を送る会・卒業式・1・2年三者懇談

【校時表】 (例: 中学3年生)

	月	火	水	木	金
9:00-9:20	ウォームアップ				
9:20-9:30	朝の会				
9:30-10:20	1時間目	英語	社会	社会	数学
10:30-11:20	2時間目	理科	数学	英語	国語
11:30-12:20	3時間目	スポーツ	チャレンジ	チャレンジ	音楽
12:20-13:00	昼食・昼休み				
13:00-14:30	4-5時間目	ASUタイム	いきいき美術	わくわく家庭科	わくわく技術
14:30-14:40	清掃				
14:40-15:00	クールダウン				
15:00	下校				

【卒業生の進路】



瑞浪市議会の皆様を心から歓迎致します

令和6年7月25日（木）10時00分～

委員会室

ようこそ、大東市へ！



大東市公式マスコットキャラクター「ダイトン」

瑞浪市議会視察研修次第

1. 開会 (10:00)
2. 歓迎のあいさつ (10:00)
3. 瑞浪市あいさつ (10:05)
4. 調査事項説明 (10:10)
5. 質疑応答 (11:00)
6. 瑞浪市あいさつ (11:55)
7. 閉会 (12:00)

令和6年7月25日
【岐阜県瑞浪市】行政視察資料.

大東元気でまっせ体操について

大東市高齢介護室

大東市

大阪府の東部、河内地方のほぼ中央に位置し、総面積は約18.27km²
(市域の1/3は山間部)。

西隣は大阪市。大阪駅まで電車で約20分の距離にありながら、東には奈良県に隣接しており、豊かな自然に囲まれた、ゆったりと暮らすことのできるコンパクトシティ。

信長に先駆け天下人「三好長慶」



だんじり祭り



野崎まいり



江戸時代から続く地域行事



大東市の高齢者人口の推計

	2020年	2025年	2035年	2045年
人口（人）	119,367	115,286	104,726	93,155
生産年齢人口 （15歳以上64歳未満）	72,666	71,042	60,695	48,798
65歳以上（高齢者）	32,722	32,124	33,766	35,428
75歳以上	16,664	19,922	18,549	19,728
85歳以上	3,966	5,656	8,773	7,110
高齢者の割合（％）	27.4	27.9	32.2	38.0

（出典）国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」

大東市の世帯数の推移

	平成27年 （2015年）	平成28年 （2016年）	平成29年 （2017年）	平成30年 （2018年）	令和元年 （2019年）	令和2年 （2020年）
一般世帯数	51,899	52,048	52,196	52,345	52,493	52,642
高齢者を含む世帯	20,521	20,723	20,925	21,126	21,328	21,530
高齢者のみ世帯	11,360	11,611	11,862	12,112	12,363	12,614
高齢独居世帯	5,913	6,100	6,287	6,474	6,661	6,848
高齢夫婦世帯	5,447	5,511	5,575	5,638	5,702	5,766
一般世帯に占める高齢独居世帯の割合	11.4%	11.7%	12.0%	12.4%	12.7%	13.0%



（出典）第9期大東市総合介護計画 世帯数の推移

大東市の現状と問題

人口推計等からわかること

- ・介護、医療等の支えを必要とする高齢者層の増加。特に85歳以上の割合が増加。
- ・生産年齢人口の減少
- ・高齢者独居世帯、高齢のみの世帯の増加

大東市で起こる問題

- ・減り続ける財源と担い手
- ・医療・介護に携わる専門職の不足
- ・地域の担い手の高齢化
- ・地域ネットワークの弱体化
- ・見守りを必要とする世帯の増加
- ・認知症高齢者の増加

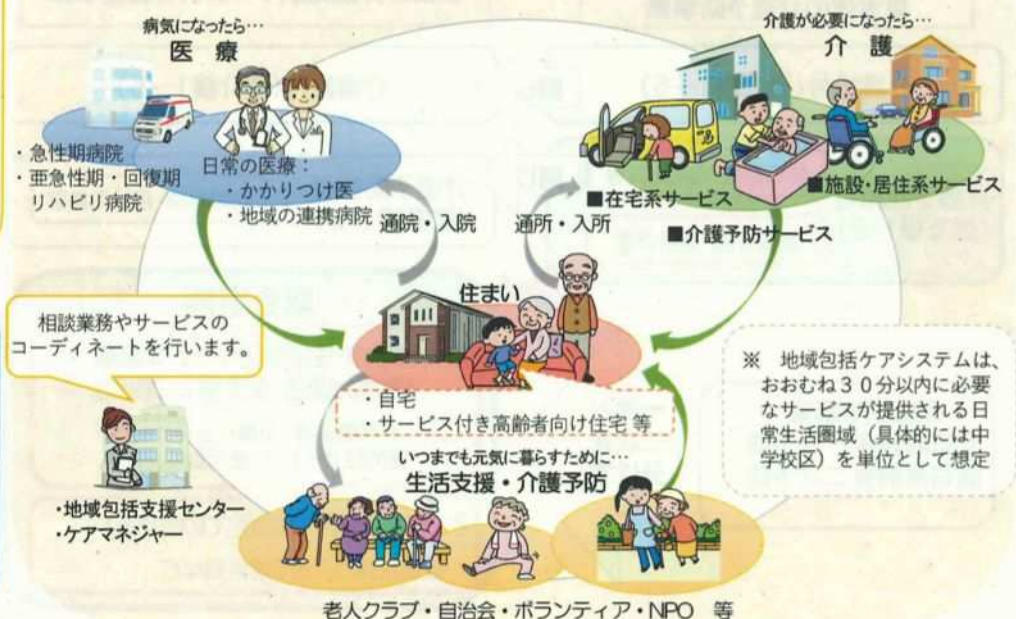
など

地域包括ケアシステムの推進

重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される**地域包括ケアシステムの構築が重要。

大都市部・町村部等によって高齢化の進展状況に地域差がある。地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、**地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要**。

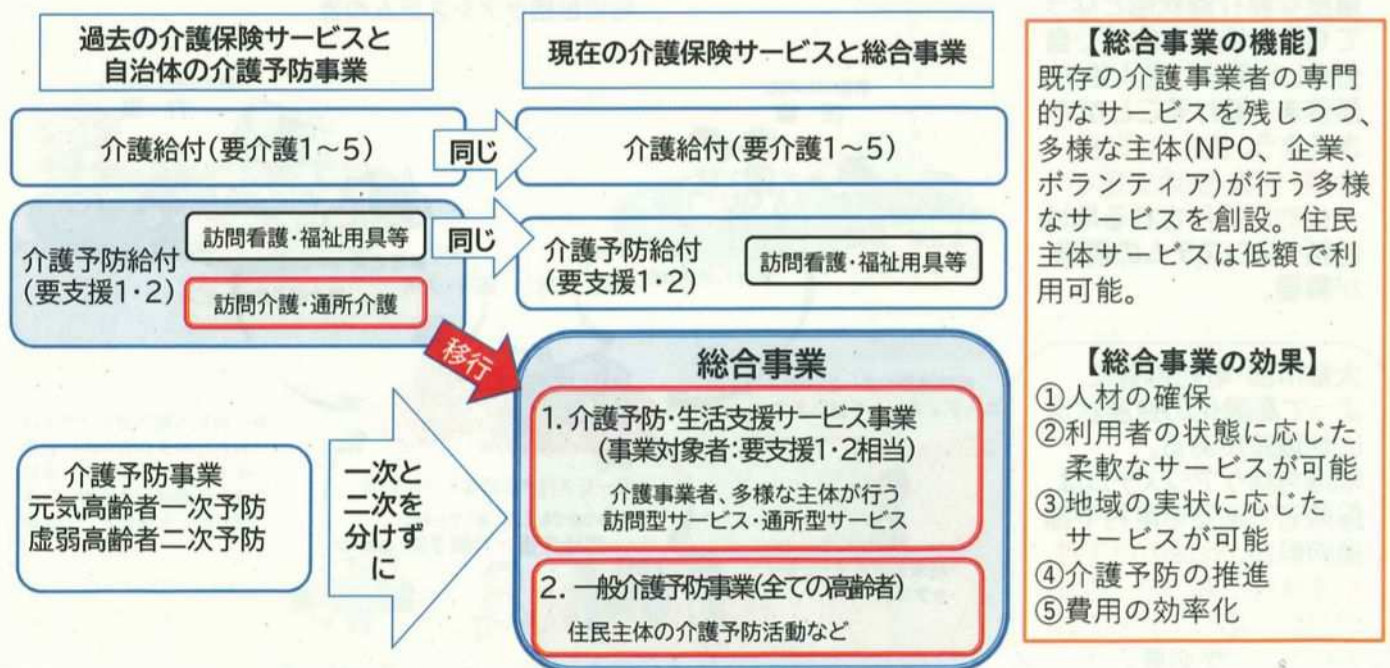
地域包括ケアシステムの姿



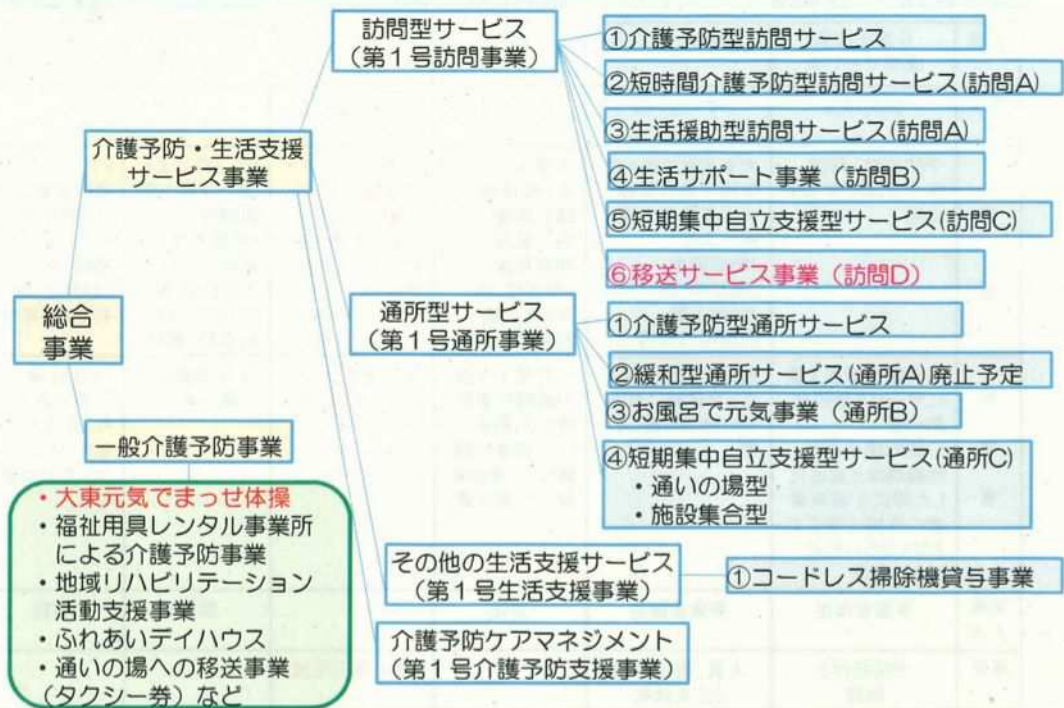
問題解決のために大東市では

- ・支えを必要とする高齢者の増加を食い止める介護予防の推進
- ・要支援状態からの自立を目指す自立支援を促進
- ・効率的で効果的な働き方を推進
- ・貴重な専門職は、より専門性の高いことに集中し、それ以外のことは専門職以外が担う環境整備の推進
- ・新たな担い手を確保
- ・高齢者であっても活躍できる場の情報発信及びコーディネート
- ・ICT、IoT技術を導入し、見守りを充実

介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)



大東市の総合事業における各種サービス



大東市の総合事業訪問サービス

名称	介護予防型訪問サービス	短時間介護予防型訪問サービス	生活援助型訪問サービス	生活サポート事業	サービスC	移動支援サービス
類型	従前相当	サービスA		サービスB	サービスC	サービスD
内容	予防給付と同様 45分以上 区分支給限度額が上限	訪問介護員による身体介護・生活援助 20～45分未満 209単位/回 月8回上限 利用料:295円	介護以外の民間企業による生活援助(見守り含) 45分程度 156単位/回 月10回上限 利用料:280円	住民ボランティアによる生活援助(見守り含)+生活支援 上限設定なし 250円/30分	PT、OTによる訪問型生活相談支援 期間:3か月 上限回数無し 162単位/20分～1810単位/回 利用料:無料	住民ボランティアによる移送支援 週2回上限 利用料:無料
対象者	○介護や障害でサービス継続利用の者 ○認知症や進行性難病など重症化した際に介護事業者の支援に適應できなくなる可能性がある場合	生活サポート事業や生活援助型訪問サービスで対応できない者	生活サポート事業で対応できない者	○要介護度に関係なく利用可 ○認知症、精神疾患等により物取られ妄想等で住民ボランティアとトラブルになる可能性のある場合を除く	IADL改善が必要な者	通いの場に限 定した移送 サービス 介護認定度合 いに関係なく、 移動に介助が 必要な者
実施方法	事業者指定	事業者指定	委託	補助	委託	補助
基準	予防給付と同様	人員、提供時間などを緩和		養成講座受講		

大東市の総合事業通所サービス

名称	介護予防型 通所サービス	通所サービスA	お風呂で元気 事業	大東元気で まっせ体操	サービスC (通いの場)	施設集合型 サービスC
類型	従前相当	サービスA	サービスB	一般介護予防 事業	サービスC	
内 容	予防給付と同様 区分支給限度額が 上限	大東元気でまっせ 体操+健口体操 +栄養指導+送 迎+入浴 3時間程度 296単位/回 月8回上限 利用料:430円	大東元気で まっせ体操+ 健口体操+入 浴+見守り 90分程度 156単位/回 月8回上限 利用料:280円	大東元気でまっ せ体操+健口 体操+見守り 年1回栄養+口 腔+体力評価と 講話 運転手型+タク シー券型移送	PT、OTによる 通いの場の環 境調整 1時間程度 期間:3か月 上限回数無し 757単位/回 利用料:無料	PT、OTによる 集団運動指導 1時間程度 月8回上限 期間:3か月 548単位/回 利用料:無料
対 象 者	○介護や障害で既 にサービス継続利 用の者 ○認知症や進行 性難病など重症化 した際に介護事業 者の支援に適應で きなくなる可能性 がある場合	地域の大東元気で まっせ体操に自力 での参加が難しい 者	○自宅に入浴 が困難な者を含 む高齢者 ○介護度に関 係なく、身体介 助が不要な者	要介護度に関 係なく参加可能	IADL改善が 必要な者	IADL改善が 必要な者のう ち、自宅での セルフトレー ニングが困難 な者
実施 方法	事業者指定	事業者指定	委託		委託	委託
基準	予防給付と同様	人員、提供時間 などを緩和		養成講座受講		

11

大東元気でまっせ体操～住民主体の通いの場～

どんな体操？

- ・「座ってする体操」「立ってする体操」「寝てする体操」があり、参加者の体調に合わせてできる体操。
- ・自治会、銀行、病院、民家、地元企業、介護事業所等で住民主体で実施。
- ・元気な高齢者から要介護5の方まで参加可能。
- ・介護サービスと併用可能。
- ・市内各所に体操会場があり、要支援者でも歩いて通える。
- ・令和6年6月現在 市内148グループが週1～2回開催。
- ・有償ボランティアドライバーが体操会場へ自身では行くことができない高齢者を送迎する移送サービス事業の利用が可能。

大東元気でまっせ体操の効果

身体機能の維持、認知症予防、閉じこもり予防、
地域ネットワークの維持、交流の促進、見守り機能 など



12

大東元気でまっせ体操
効きまっせ 若うなりまっせ
寝たきりならんで儲かりまっせ

住民主体の通いの場
平成17年度スタート
(一般介護予防事業)



市内148団体が週1～2回開催
(令和6年6月現在)
元気な高齢者から介護5まで参加

- ・要支援レベルの高齢者でも歩いていける範囲に通いの場があるから、デイサービスに行かなくても大丈夫な人がたくさんいる
- ・介護サービスと併用し、サービス利用日以外も人との交流ができる場
- ・会場は自治会館、民家、空き店舗、空き家、病院や鍼灸院の空きスペース、信用金庫フィットネスクラブのロビー、生命保険会社のセミナールーム、寺院などの宗教施設
有料老人ホーム、ケアハウス、ホテル、サービス時間外のデイサービスセンターなど

13

通いの場の例 大東元気でまっせ体操 (一般介護予防事業)



14

住民主体の通いの場では、
こんないいことが起こっています

1. 多くの虚弱高齢者が元気になります。
2. それも、その活動はずっと継続することができます。
3. 週1回の体操に集まるだけの活動から様々な活動に広がっていきます。
4. ご近所同士が仲良くなります。
5. 住民の見守りの目が育ちます。
6. 地域の支えあいが生まれます。

元気高齢者と虚弱高齢者が一緒に参加しているから起こることです。

行政・包括は年3回のステップアップ講座で
よい活動をしている地域を他の地域にも広げるコーディネート役

15

生活サポート事業（訪問B）

住民主体の生活支援
平成26年度スタート

家事援助

介護保険で認められているサービス



生活支援

窓ふき、大型ゴミ、
庭の手入れなど



宅配や移動販売促進 お掃除ロボットの活用 令和4年度からはスマホ操作支援を追加

利用料30分以内250円

○謝礼金

○時間貯金

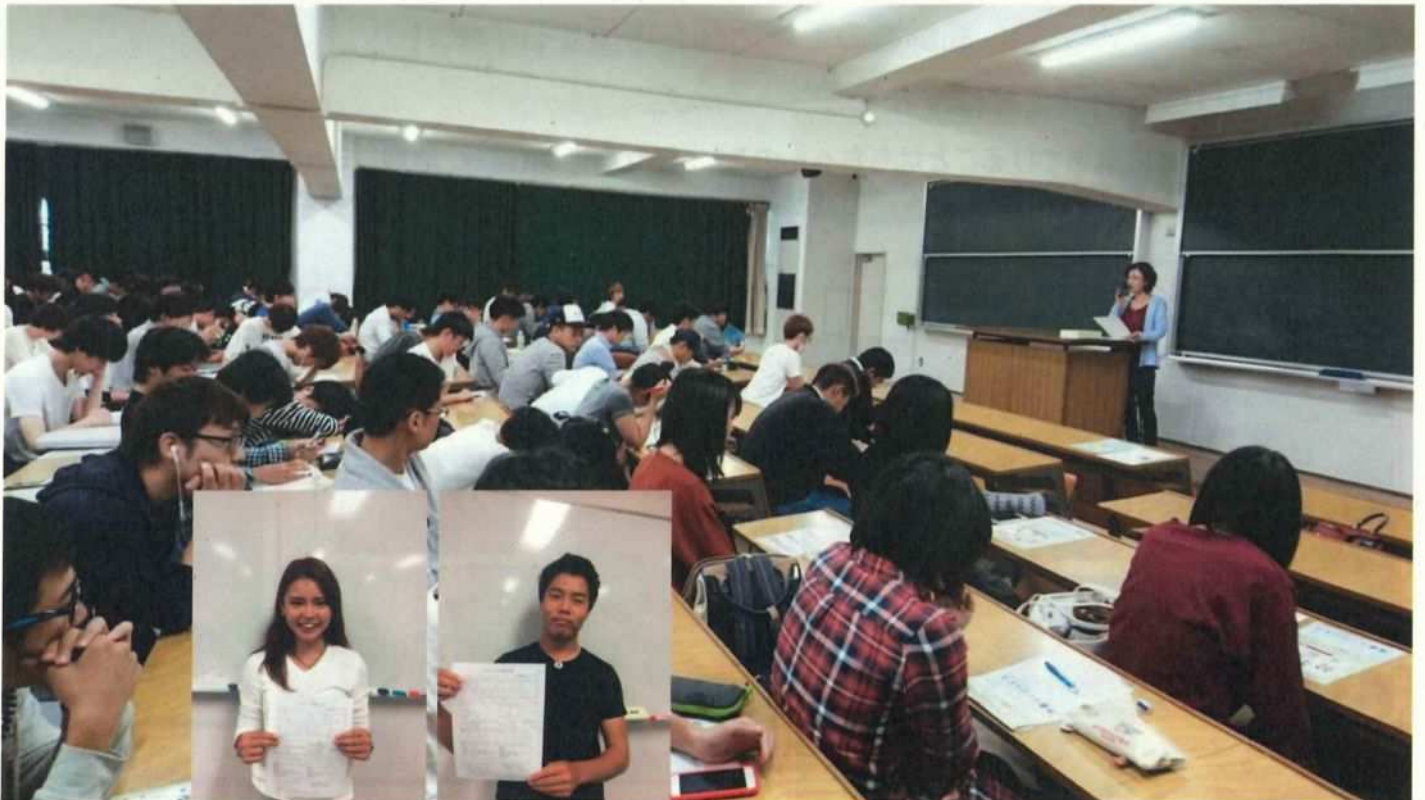
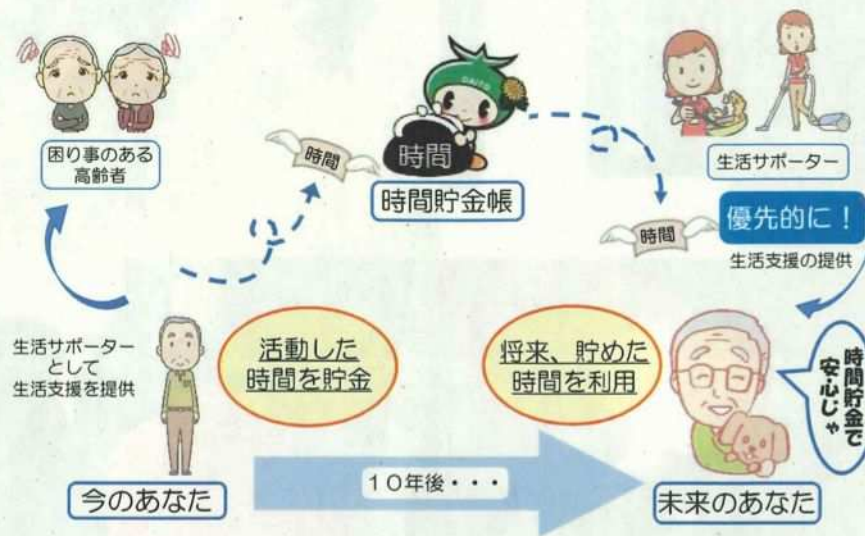
令和6年3月 生活サポーターの登録は900人

利用者110人（要支援レベルが殆ど、自立や介護2の方も利用中）

令和5年度 延べ件数3941件

16

時間貯金 ～今、動ける時間を将来のために貯金～





支援を体験
東市



高齢者の地域活動を応援するイベント

健康でいられる期間を延ばすために

食事や運動などに気をつけることはもちろんのこと、様々な活動(趣味、地域コミュニティへの参加、ボランティア、学び、就労など)を通じて、新しい経験や交流をすることによって、心身ともに活性化を図ることが効果的。

アクティブシニアの生きがい探し



66歳地域デビュー応援



スマホ教室



見守りサービス

各種見守りサービスを、様々な媒体(チラシ、広報誌、ホームページ、LINE)で一体的に発信。
全てのサービスを集約したホームページを作成し、電子申請を可能に。

【チラシ】

大東市 ~ご高齢の方やご家族に安心を~

7つのあんしん・見守りサービス

- 1. ハローライト事業**
自動で見守るLED電球
- 2. スマートタグ 購入費助成**
GPSとスマホで認知症徘徊対策
- 3. 地域SOSカード**
緊急時に役立つ冷蔵庫に保管する情報カード
- 4. あんしん・通報システム**
緊急通報や日頃の相談ができるシステム
- 5. 地域の安心見守り活動**
地域の事業者の方々力を借りた見守り活動 協力事業者募集!
- 6. 在宅給食サービス**
昼食のお届け時に安否確認
- 7. 電磁調理器購入費の助成**
電磁調理器で出火を防止

各サービスの利用要件等の詳細につきましては、QRコードからホームページをご確認いただくか、下記のお問合せ先までご連絡をお願いします。

お問合せ・お申込み先
大東市役所 高齢介護室 高齢支援グループ
〒574-8555 大東市谷川1丁目1番1号
TEL: 072-870-0513



【HP】

【あんしん2】ハローライト事業

事業対象の方は、ヤマト運輸が提供する下記の【1】と【2】を併せたサービスを無料で利用できます。電球を交換するだけで利用でき、通知先は4人まで設定できます。

【1】ハローライト: 電源のオン・オフを計測し、一定時間動きがない場合に登録した家族等にメールを自動発信する機能を持ったLED電球

【2】代理訪問: 上記【1】の異常検知時に家族等が訪問できない場合に、家族等の依頼に応じて、ヤマト運輸の営業所スタッフにスタッフが訪問し、安否確認



ホームページ: https://www.city.data.ke.jp/anshin/04_3/004.html

【あんしん3】あんしん・通報システム

緊急時にボタンを押すと、あんしんセンターに通報され、マイクを通じて状況確認。訪問が必要であれば、あらかじめ登録した親類・知人宅にあんしんセンターが連絡。緊急時には消防本部等に連絡し、緊急・救急体制の調整を実施。

また、医療や介護・健康・福祉等の相談サービスを365日 24時間受け付けることが可能。

事業対象の方は本サービスを無料で利用できます。対象等の詳細はHP参照。



ホームページ: https://www.city.data.ke.jp/anshin/04_3/004.html

IoTを用いた見守り 大東市ハローライト事業

ヤマト運輸  が行う①と②を併せたサービスを高齢者の見守りに活用!

①ハローライト: 電源のオン・オフを計測し、一定時間動きがない場合に登録した家族等にメールを自動発信する機能を持ったLED電球 

②代理訪問: 上記①の異常検知時に家族等が訪問できない場合に、家族等の依頼に応じて、ヤマト運輸の営業所スタッフが訪問し、安否確認 

大東市では令和5年度から「ハローライト事業」を創設。

事業対象者は上記ヤマト運輸が提供するサービス月額利用料1,078円を自己負担なしで利用可能。

【対象者】

大東市に居住し、かつ住民基本台帳に記録されている人のうち、在宅でひとり暮らし又はこれと同等とみなすことができる状態にある75歳以上の人



ハローライトのいいところ!

らくらく設置

- ・電球を交換するだけ利用可能
- ・Wi-Fi等の通信機器不要
- ・コンセント不要
- ・工事不要

かんたん利用

特別な操作は一切不要!
誰でも簡単に利用できます

あんしん

- ・通知先は4人まで設定可能
- ・異常の有無に関わらず前週の電球使用状況を通知先に配信

ご清聴ありがとうございました。

大東市 ～ご高齢の方やご家族に安心を～

7つの あんしん・見守り サービス



1. ハローライト事業

自動で見守るLED電球

2. スマートタグ 購入費助成

GPSとスマホで認知症迷い人対策



3. 地域SOSカード

緊急時に役立つ冷蔵庫に保管する情報カード

4. あんしん・通報システム

緊急通報や日頃の相談ができるシステム



5. 地域の安心見守り活動

地域の事業者の方々の力を借りた見守り活動
協力事業者募集中！



6. 在宅給食サービス

昼食のお届け時に安否確認



7. 電磁調理器購入費の助成

電磁調理器で出火を防止



各サービスの利用要件等の詳細につきましては、QRコードからホームページをご確認いただくか、下記のお問合せ先までご連絡をお願いします。

お問合せ・お申込み先

大東市役所 高齢介護室 高齢支援グループ

〒574-8555 大東市谷川1丁目1番1号

TEL：072-870-0513

【ホームページ】

